

## 令和元年度 第2回大阪府立国際会議場指定管理者評価委員会 議事概要

1 日 時：令和元年10月24日（木）10時05分～11時35分

2 場 所：大阪府立国際会議場 7階会議室702

3 出席者：出席委員 5名（定員5名）

苗村委員長、金委員、小林委員、團委員、藤村委員

4 議 題：

（1）令和元年度評価基準に対する指定管理者の取り組み状況について

5 主な議事内容（委員：○、指定管理者：●、事務局：□）

（1）開会あいさつ

□事務局あいさつ

- ・忙しい中、委員には出席いただき感謝。
- ・本日は、前回の評価委員会で策定した評価基準に基づき、今年度上半期の指定管理者の取り組み状況及びその評価等について、委員から忌憚ないご意見をいただきたい。
- ・いただいた意見については、今後下半期の指定管理者の取り組みや、施設所管課への指導の参考にしたいと考えている。よろしく願います。

（2）令和元年度評価基準に対する指定管理者の取り組み状況について

- ・指定管理者より、平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画について説明（資料3、資料3別添のとおり）

以下質疑

I 提案の履行状況に関する項目

○) 医学系以外の会議（自然科学系等）の誘致状況が知りたい。

今年度上期の誘致会議（開催・成約）のリストを提供いただけないか。

（委員会開会中に会議場から、リストの提供あり）

○) 指定管理者の選定委員会時に、自然科学系の国際会議の誘致強化やアジアの大学との連携など、10年間の目標を示された。それに向けた工程表及び4月からの半年間の進捗状況を示したものはあるのか。

●) 工程表は未作成。当社は医学系会議の誘致には実績があり、医学系で培った手法を基に自然科学系分野でのネットワーク形成に努めており、キーパーソンである自然科学系の先生に

アプローチしている。今のところは、支援プログラムを活用した誘致や行政と連携した誘致に取り組んでいきたい。

○) 指定管理の選定時、アジアの大学との連携にある中小会議の誘致は、他の施設が踏み込んでいない分野であり、そこを評価した。また、評価委員会として、将来に向けた計画とこれまでの実績を見ていきたい。

○) 誘致できなかった国際会議について、敗因の分析はできているのか。

●) 展示場の併用が必要なものであるなど、国際会議場のスペックでは対応できない国際会議もある。これまで以上にインテックス大阪と連携を行い、情報を共有し、誘致をすすめたい。

アジアの大学等の連携に取り組んでいるところであるが、準備不足といったこともあり、成果が出ていない。

○) 誘致活動の取り組み状況を書面で示すことは困難であると考えているが、評価委員会においては、支障のない範囲に限り、口頭でもよいので進捗状況を報告いただければと思っている。

## II さらになるサービスの向上に関する項目

○) 利用者の不満を受けて、リニューアルの内容や機能強化・修繕したものは。

●) リニューアルについては、開業20年を迎えるということもあり、1階のビジョンモニターをグレードアップし、画面にインパクトがあるものにしたい。案内等の掲示をデジタルサイネージ等でわかりやすくするとともに、タッチパネルでの案内が可能となるよう、受付の改修も行う。

2階は、飲み物に限ってオープンスペースへの持ち込みを可とし、ゆっくり寛げるスペースにしたい。

地下1階車寄せには、会議場の玄関としてのイメージアップを図るとともに、軽飲食の提供が可能な自動販売機を設置する等、利便性を充実させたい。

また、s-OICC、e-OICCの取り組みを進め、利用者の声や社員及び委託業者の声を施設や備品の充実に反映させていく。

○) 次回は、事業計画書に記載している機能強化・修繕の進捗状況がわかるようにしてほしい。

○) 利用者のコメントで、実現可能性が低いものは特に資料に載せなくてもいいのでは。

●) 例えば、アクセス改善は当社だけでは難しいが、主催者に新大阪一会議場間のシャトルバス手配を提案する等の対応をしていることをお伝えするため、実現可能性の低いものも記載している。

また、次回は事業計画書に沿って進捗を記載した評価票を提示したい。

- ) 小さいことだが備品（レーザーポインター等）のちょっとした不備が利用者には大きなストレスになる。利用者からはどのような意見があるか。
- ) メモがとれる程度の明るさの照明、机椅子のグレードアップ、ヘッドセット等より利用者  
に身近なツールの機能強化や充実を図りたい。
- ) レーザーポインターも別料金になっているが、施設利用料に含めることはできないのか。
- ) そういった要望があることは承知している。また、イベント主催者が関与しない催事の事  
務局向けの事務用品セット（ホッチキス等）のニーズがあることも承知している。
- ) お弁当の直営化はどうか。
- ) お弁当の直営化については、先日6社を選定したところ。  
メニューの多様化だけでなくベジタリアン、ハラル対応にも応じていただけるものと考え  
ている。
- ) 環境問題への取り組みとして、プラスチックごみ（ストロー、ペットボトル等）への対  
応はいかがか。
- ) 紙のコーヒーカップやお皿の使用を考えている。環境問題への取り組みを行っていること  
をアピールできればと思っている。
- ) 事業計画書にも環境への取り組みが書かれている。これらに強く取り組むことは他の国際  
会議場との競争において、セールスポイントとなり、新たな会議の誘致が期待できるのでは  
ないか。
- ) 環境問題への取り組みを行う必要があることは認識している。戦略を考えているところで、  
委員にお示しできる状態ではない。

### Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

- ) 労務管理でのトラブルはあるのか。
- ) トラブルではないが、対応に苦慮している事案として時間外勤務の管理がある。会議場の  
営業時間は9時から21時であるが、施設利用者から設営等のため、7時頃に開場してほし  
い等の要望がある。その場合、職員の勤務シフト変更により対応しているが、時間外勤務で  
の対応となる場合もある。

- ) 障がい者や就職困難者の雇用は。
- ) 清掃の委託業者の入札に障がい者の雇用を条件とし、就労していただいている。
- ) 会議場の運営部門での雇用は。
- ) 難しい。どのような分野であれば活躍してもらえるのか、検討が必要。

#### IV その他

- ) 次回評価委員会に向け、以下3点に留意の上、資料を作成し、提供いただきたい。
  - ・ 事業計画を実現するため、今後10年間の工程表と単年度の工程表の提供
  - ・ 単年度の工程表に基づき、評価票に示した事業の進捗状況
  - ・ 特に、評価票に示した「中之島の地域活性化に向けた取り組み」の実施・進捗状況は、目的別（国際会議等の誘致を目的として実施するもの・府民協働を目的として実施するもの）での記載
- ) 評価票に記載された指定管理者の自己評価から、法人の努力は理解しており、また、会議誘致に関し、これまで手掛けていない分野への挑戦にも取り組んでいることは理解している。  
加えて、会議場には、さまざまな層からアプローチしてもらえよう、会議利用だけでなく、中之島周辺の日常的なにぎわいづくり創出の要となるよう期待している。会議場が中心となって、仕掛けを考えてほしい。中之島なつまつりは好事例。
- ) 次回の評価委員会は、来年1月～2月に実施予定。現在、日程調整中のため、確定後、各委員へお知らせする。

以 上